## 大学評価基準別紙 評価の指針 新旧対照表

※赤太字が変更箇所。

新(改定案)    日
基準1では、「学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な知目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 は第1 に関する評価の指針 基準1では、「学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な知るといる事項といて必要な知るといる事項とれぞれについて、法令適合性の観点から評価します。本指針では、それぞれの評価事項の評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。
基準1では、「学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。  基準1では、「学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、それぞれの評価事項の評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。
に規定する基準を適用するに際して必要な 細目を定める省令」において認証評価を行 うものとして定められている事項それぞれ について、法令適合性の観点から評価しま す。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、 大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。 に規定する基準を適用するに際して必要な 細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、それぞれの評価事項の評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 もれる法令となります。
細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。す。  細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価しまます。 について、法令適合性の観点から評価しまます。 の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。
細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。す。  細目を定める省令」において認証評価を行うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価しまます。 について、法令適合性の観点から評価しまます。 の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。
うものとして定められている事項それぞれについて、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。  本指針では、それぞれの評価事項の評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。
について、法令適合性の観点から評価します。 本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。 は特に重要と考えられる法令となります。
す。 本指針では、 <b>基準1で評価を行う10の評 価事項について、</b> 評価の趣旨を示した上で、 大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。  す。 本指針では、 <b>それぞれの評価事項の</b> 評価 の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。
本指針では、基準1で評価を行う10の評価事項について、評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。 本指針では、それぞれの評価事項の評価 の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。
<b>価事項について、</b> 評価の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。  の趣旨を示した上で、大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。
大学が参照することとなる関係法令等を示します。関係法令等を示します。関係法令等します。関係法令等のうち下線を付したものうち下線を付したものは特に重要と考えられる法令となります。 す。
します。関係法令等のうち下線を付したものは特に重要と考え のは特に重要と考えられる法令となりま す。  のうち下線を付したものは特に重要と考え られる法令となります。
のは特に重要と考えられる法令となりま られる法令となります。 す。
す。
1 教育研究上の基本となる組織に関する イ 教育研究上の基本となる組織に関する (変更)
■ 教育明九上の基本となる地域に関する   1 教育明九上の基本となる地域に関する   (友文)
28
(略) (略)
2         教育研究実施組織に関すること         ロ         教育研究実施組織に関すること         (変更)
(略) (略)
3       教育課程に関すること       ハ       教育課程に関すること       (変更)
(略)
4 施設及び設備に関すること       二 施設及び設備に関すること       (変更)
(略) (略)
5 大学運営に必要な業務を行う組織及び <b>ホ</b> 大学運営に必要な業務を行う組織及び (変更)
厚生補導等に関すること       厚生補導等に関すること         (略)       (略)
6 <b>卒業又は修了</b> の認定に関する方針、教 へ <b>卒業</b> の認定に関する方針、教育課程の (変更)
育課程の編成及び実施に関する方針並びに 編成及び実施に関する方針並びに入学者の
入学者の受入れに関する方針に関すること 受入れに関する方針に関すること
大学は、卒業又は修了の認定に関する方 大学は、卒業の認定に関する方針(ディプロ (変更)
針 (ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編 マ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に 成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポ 関する方針 (カリキュラム・ポリシー) 並び
リシー)並びに入学者の受入れに関する方   に入学者の受入れに関する方針(アドミッ
針(アドミッション・ポリシー)を、大学、「ション・ポリシー)を、大学、学部又は学科
学部又は学科若しくは課程(大学院にあっ 若しくは課程(大学院にあっては、当該大学
ては、当該大学院、研究科又は専攻)ごとに、 院、研究科又は専攻)ごとに、その教育上の
その教育上の目的を踏まえて定めている目的を踏まえて定めているか。また、教育課
か。また、教育課程の編成及び実施に関する 程の編成及び実施に関する方針を定めるに
方針を定めるに当たっては、卒業の認定に 当たっては、卒業の認定に関する方針との ## の78/4 ないよう エレスカ
関する方針との一貫性の確保をはかってい るか。
(略) (略)
7 教育研究活動等の状況に係る情報の公 ト 教育研究活動等の状況に係る情報の公 (変更)
表に関すること

新 (改定案)	旧	備考
(略)	(略)	
8 教育研究活動等の改善を継続的に行う	チ 教育研究活動等の改善を継続的に行う	(変更)
仕組みに関すること	仕組みに関すること	( 1,)
9 財務に関すること	リ財務に関すること	(変更)
10 教育研究活動推進のための環境整備等	ヌ 教育研究活動推進のための環境整備等	(変更)
に関すること 大学は、 <b>1</b> から <b>9</b> までの事項で評価する	に関すること 大学は、 <b>イ</b> から <b>リ</b> までの事項で評価する	(変更)
としたもののほか、教育研究活動等に関す	としたもののほか、教育研究活動等に関す	(发史)
る必要な関係事項について適切に対応を行	る必要な関係事項について適切に対応を行	
っているか。特に、ICT環境の整備並びに継	っているか。特に、ICT環境の整備並びに継	
続的な研究成果の創出のための環境整備に	続的な研究成果の創出のための環境整備に	
ついて適切に対応を行っているか。	ついて適切に対応を行っているか。	
また、1から9までに列挙した以外の関	また、 <b>イ</b> から <b>リ</b> までに列挙した以外の関	(変更)
係法令等に適切に対応を行っているか。	係法令等に適切に対応を行っているか。	
[ <b>1</b> から <b>9</b> までに列挙した以外の関係法令	[ <b>イ</b> から <b>リ</b> までに列挙した以外の関係法令	(変更)
等]	等]	
(略) 基準2 <mark>の</mark> 評価の指針	(略)	(赤田)
基準20評価の指針	基準 2 <b>に関する</b> 評価の指針	(変更)
基準2では、大学が行う自己の水準分析	基準2では、大学が行う自己の水準分析	
の内容について、情報を体系的、継続的に収	の内容について、情報を体系的、継続的に収	
集、分析するなど、教育研究の水準の向上に	集、分析するなど、教育研究の水準の向上に	
資するために必要な取組みを組織的に行っ	資するために必要な取組みを組織的に行っ	
ており、その取組みが効果的に機能してい	ており、その取組みが効果的に機能してい	
ることを確認します。	ることを確認します。 <b>その際、学生の</b> 学修成	
評価は大学から示される問題意識や具体	果の適切な把握及び評価に関する取組みの	(追加)
的な分析、改善の取組みに基づいて行いま	状況並びに継続的な研究成果の創出のため	
す。学修成果の適切な把握及び評価に関する取組みの状況並びに継続的な研究成果の	の環境整備に向けた取組み <b>の状況を確認し</b> <b>ます。</b>	
創出のための環境整備に向けた取組み <b>につ</b>	A 9 0	(変更)
いては、必ず取組み状況を示すことを大学		(22)
に対し求めます。		
1 評価に付す根拠資料 (例示)	1 評価に付す根拠資料 • <b>データ</b> (例示)	(削除)
・教育研究の水準の向上に向けた自己分析		(追加)
や改善の取組みの内容を示す資料等		(-1)
・大学が外部に対して公表する情報及び報	・大学が外部に対して公表する情報集、報	(変更)
告書等	告書等 ・第三者による大学の水準分析等の <b>報告書</b>	(変更)
等 第二年による人子の小学力が寺の報音	・ 第二年による八子の小平力が寺の <b>報音書</b>	(友丈)
マー・ステークホルダー(学生・卒業生・教職	・学生・卒業生を含む関係者からの意見の	(変更)
員・地域住民・民間企業・地方公共団体等)	体系的、継続的な収集、分析の結果	(54,54)
からの意見等	・学生の学修成果の把握及び評価に向けた	(削除)
	取組み	
	・継続的な研究成果の創出のための環境整	
	備に向けた取組み	
	・以上の資料における情報、意見を反映し た改善の取組み	
	/〜以告♥/以他の	
   2   評価の方法	2 評価の方法	
・教育研究の水準の向上に向けた自己分析		(追加)
や改善の方針、組織体制等を確認する。		
・ <b>教育研究の水準の向上に向けた</b> 情報の収	・情報の収集、分析が体系的、継続的に行わ	(変更)

新 (改定案)	旧	備考
集、分析が体系的、継続的に行われているかについて確認する。	れているかについて確認する。	
	・それぞれの取組みが組織的に行われているかについて確認する。	(削除)
・大学から示されたそれぞれの取組みが、 教育研究の水準の向上のために効果的に機	・それぞれの取組みが教育研究の水準の向上のために効果的に機能 <b>しているか</b> につい	(変更)
能し、組織的に改善に結びつけられているかについて確認する。	て確認する。	(変更)
基準3の評価の指針	基準3 <mark>に関する</mark> 評価の指針	(変更)
基準3では、大学が行う特色ある教育研究の進展に資するために必要な取組みを組織的に行っており、その取組みが効果的に機能していることを確認します。 評価は大学から示される具体的な取組み	基準3では、大学が行う特色ある教育研究の進展に資するために必要な取組みを組織的に行っており、その取組みが効果的に機能していることを確認します。	(追加)
計画は人子から示される具体的な収組のに基づいて行います。		(垣加)
1 評価に付す根拠資料 (例示) ・特色ある教育研究の取組みの内容を示す 資料等	1 評価に付す根拠資料 • <b>データ</b> (例示)	(削除) (追加)
・大学が外部に対して公表する 取組みに関する報告書等	・特色ある教育研究の取組みに関する報告 書等	(変更)
・第三者による <b>取組みの検証や評価等</b> の報告書 <b>等</b>	・特色ある教育研究の取組みに関する第三 者による検証等の報告書	(変更)
・ステークホルダー(学生・卒業生・教職員・地域住民・民間企業・地方公共団体等)からの意見等	・特色ある教育研究の取組みに関する学生・卒業生を含む関係者からの意見の体系的、継続的な収集、分析の結果	(変更)
	・以上の資料における情報、意見を反映した改善の取組	(削除)
<ul><li>2 評価の方法</li><li>・それぞれの取組みが組織的に行われているかについて確認する。</li></ul>	<ul><li>2 評価の方法</li><li>・それぞれの取組みが組織的に行われているかについて確認する。</li></ul>	
・それぞれの取組みが、大学の理念等に定める特色を実現するものとして効果的に機能しているかについて確認する。	・それぞれの取組み <b>の状況について確認</b> し、特色ある教育研究の進展に資するため に効果的に機能しているかについて確認す	(変更)
・それぞれの取組みの課題や問題意識をど のように把握及び共有し、改善を進めてい るかについて確認する。	る。	(追加)